

1 議 事 日 程

〔平成28年太宰府市議会 決算特別委員会〕

平成28年 9 月23日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成27年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第2 認定第2号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第3 認定第3号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第4号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第5号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第6 認定第6号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第7 認定第7号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第8 認定第8号 平成27年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 日程第9 認定第9号 平成27年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	宮 原 伸 一 議員
委員	堺 剛 議員	委員	船 越 隆 之 議員
〃	木 村 彰 人 議員	〃	森 田 正 嗣 議員
〃	有 吉 重 幸 議員	〃	入 江 寿 議員
〃	笠 利 毅 議員	〃	徳 永 洋 介 議員
〃	上 疆 議員	〃	神 武 綾 議員
〃	小 畠 真由美 議員	〃	陶 山 良 尚 議員
〃	長谷川 公 成 議員	〃	藤 井 雅 之 議員
〃	村 山 弘 行 議員	〃	橋 本 健 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（25名）

市 長	芦 刈 茂	副 市 長	富 田 譲
教 育 長	木 村 甚 治	総 務 部 長	石 田 宏 二
地域健康部長	友 田 浩	総 務 部 理 事 兼公共施設整備課長	原 口 信 行
建設経済部長	井 浦 真須己	市民福祉部長	濱 本 泰 裕

観光推進担当部長 兼観光経済課長	藤 田 彰
上下水道部長	今 村 巧 児
総 務 課 長	田 中 縁
地域づくり課長	藤 井 泰 人
元気づくり課長	伊 藤 剛
福祉課 障がい福祉担当課長	菊 武 良 一
国保年金課長	高 原 清
上下水道課長	古 賀 良 平
監査委員事務局長	渡 辺 美知子

教 育 部 長	緒 方 扶 美
教 育 部 理 事	江 口 尋 信
経営企画課長	山 浦 剛 志
人権政策課長兼 人権センター所長	福 嶋 浩
納 税 課 長	千 倉 憲 司
介護保険課長	平 田 良 富
文化財課長	城 戸 康 利
施 設 課 長	谷 崎 一 郎

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（４名）

議会事務局長	阿 部 宏 亮
書 記	山 浦 百合子

議 事 課 長	花 田 善 祐
書 記	高 原 真理子

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

文化財課長。

○文化財課長（城戸康利） 先日、木村委員よりお尋ねのあつておりました太宰府発見塾の市内市外の居住地別の割合、それから年齢構成の回答をさせていただきます。

居住地別でいきますと、市内が82%、市外が18%でございます。それから、年齢構成は、60代以上が92.7%、50代が5.4%、40代以下が1.8%となっております。最高齢の方は、大正13年生まれでした。

以上、報告申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第2、認定第2号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

お諮りします。

特別会計については、事項別明細書の歳入から審査に入りたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

284ページ、1款国民健康保険税から入ります。

1款、287ページまでについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、2款国庫支出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じく3款療養給付費交付金、289ページまでについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款前期高齢者交付金、5款県支出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じページの6款共同事業交付金、291ページまでですが、6款について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7款財産収入、8款繰入金について質疑はございませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 繰入金の一般会計繰入金のうち、保険基盤安定制度繰入金のことについてなんですけれども、これ市が、県と市で4分3、4分の1持っている分だということで理解しているんですけれども、国民健康保険の制度が平成30年度から変わるということなので、ちょっと先のことで疑問に思うのでお尋ねしておきたいんですけれども、制度が変わったとき、これどのように扱われそうなのか。現状まだわからないかもしれないんですけれども、もし予想がつくのであれば、教えていただきたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） ただいまご質問がありました保険基盤安定制度繰入金につきましてご回答を申し上げます。

今お手元の決算書の繰入金、一般会計繰入金の1節保険税軽減分と、その下の2節保険者支援分、この基盤安定制度繰入金にはこの2つの制度がございます。このうち1節の保険税軽減分、こちらにつきましては、法で決まっております所得に応じて保険税を2割減免、5割減免、7割減免という制度がございます。この減免に伴いまして、保険税が収入が減ることになりますので、その補填分は県と市のほうが補填をするということで、この分についてはそのまま存続になります。

その下の保険者支援分につきましては、これは平成30年度からは県と市が共同で保険者になりますので、財政運営の責任主体である県のほうにお金が入ってくるということになります。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） だとすると、その支援分というのが、今一般会計からこちらの特別会計のほうに来ているんですけれども、県のほうにそれが行くというような形になりそうだと理解しておけばよろしいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） はい、お見込みのとおりでございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（笠利 毅委員） あともう一点。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） これもその先の話で申しわけないんですけれども、県と市が共同で国保を運営していくということになったときに、この特別会計そのものは、市としては今の形で残

るんでしょうか、それとも若干形が変わりそうなんですか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 平成30年度からは、国保特別会計は福岡県と市町村それぞれに特別会計が存在するということになります。平成30年度以降、太宰府市の特別会計におきましては、保険税を徴収して、そこに特別会計に一旦入れて、そして県のほうに納めるというふうな会計になってきます。

以上です。

○委員（笠利 毅委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにごいませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同じページの9款繰越金。293ページまでですが、9款について質疑はごいませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 292ページの10款諸収入から295ページ、最後までですが、10款について質疑はごいませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

296ページですね。1款総務費、299ページまでですが、1款について質疑はごいませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同じページ、2款保険給付費、ページがずっと行きまして303ページまでですが、2款について質疑はありますか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 国民健康保険事業というのが毎年毎年赤字ということで、あえてちょっと質問をさせていただきますけれども、事務報告書の68ページ、保険税収納状況ですね、2番。滞納繰越分が収納率が16.91%、これ大変いつも低いんですけども、担当課としては最大の努力はされているというふうには思っておりますが、この辺もう少し収納率を上げる努力、何とか工夫がないかなということでお尋ねします。

○委員長（門田直樹委員） 納税課長。

○納税課長（千倉憲司） 滞納繰越分の収納率が低いというご指摘でございます。これが今まで平成27年度までは、国民健康保険につきましては、滞納がある方につきまして、現年を優先ということで収納をしまいったところでございます。過年度分につきましては、いろいろな調査をして、その上で徴収した金額の割合ということになっております。

それで、今年度からは、滞納分から取ると、取ると言ったらちょっと言葉は悪いですが、い

ただくということしておりますので、平成28年度からは滞納分の収納率は格段に上がるものと予想いたしております。

その分、現年が下がりますけれども、その分はこれまで以上に滞納処分の調査等に力を入れてまして、現状維持を目標に今業務を行っているところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 家庭訪問、戸別訪問なんかもされて、大変な努力はされていると思うんですね。

下のほうのもう一点お聞きしたいんですが、退職者、これの退職被保険者等分がやはり余り変わらないですね、収納率がね。退職者といいますと、一般に経済的にはちょっと少しはゆとりがあるかなというふうに思いますけれども、これが低いというのはどういうことなんですか。収納率がちょっと、余り変わらないというのは。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） こちらに書いてあります退職者というのは、60歳で定年退職されて、65歳未満の方々、こちらが対象になっております。今委員ご指摘のとおり、退職した直後ということで、所得もまだあるんじゃないかということでございますが、こちらにつきましては、基本的には退職前年の所得に応じて保険税というのは賦課徴収しております。

こちらのほうも滞納分につきましては、できるだけ国保年金課、それから納税課職員一同となって、収納に努めてまいっている状況でございますが、何分いかんせん、なかなか景気状況等も余り芳しくないということで、これまで一般の被保険者と似たような推移をたどっているというのが現状でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく事務報告書の68ページ、同じ欄なんですけれども、保険給付費、療養給付費の中で、調剤の部分がかなり大きい金額だと思います。これに対しては、ジェネリックとかを使ってくださいというようなお願いをされていると思うんですけれども、今の状況でジェネリックを使っている割合というんですかね、どれだけそのジェネリックで減額できているのかというのがちょっと気になるんですけれども、そこがわかれば教えていただきたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） ジェネリック医薬品の切りかえ状況でございますが、市のほう、保険者として市のほうから、ジェネリック医薬品に切りかえられた場合、これだけお安くなりますよということを、被保険者の方々に通知をさせていただいております。その通知に基づいて

切りかえしていただいたその効果額としましては、平成27年度は1,600万円ほどの効果が上がっております。

ちなみにですが、この通知以外で全体としてジェネリック医薬品の使用状況、これが全てジェネリック医薬品じゃない場合を想定して計算したところ、年間で約1億2,000万円ほどのジェネリック医薬品の使用効果というのが出ている状況でございます。

この調剤の医薬品ですね、この調剤の金額につきましては、平成28年度に診療報酬改定におきまして、国ですね、国の診療報酬改定におきまして、約1%ほどの減額がなされております。

しかしながら、今新聞紙上でもにぎわせておりますが、オプジーボやハーボニー等の高額な医薬品、これ1つが100万円単位ですね、そういった高額な医薬品、こういう医薬品によりまして、年々ますます数字といいますか、この金額が増えているような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

302ページの3款後期高齢者支援金と、305ページまでですが、3款について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款前期高齢者納付金と5款老人保健拠出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じページ、6款介護納付金、307ページまでですが、6款について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じページ、7款共同事業拠出金、309ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じページの8款保健事業費、311ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9款基金積立金、10款公債費について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じページの11款諸支出金、313ページまでですが、質疑はござい

せんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、12款予備費及び13款前年度繰上充用金までですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、314ページをお開きください。

実質収支に関する調書について質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） まず、単年度収支をちょっとお伺いしたいんですけども、平成26年度としては1億7,300万円ぐらい単年度収支赤字だったと思うんですが、平成26年度の単年度、それこそ繰上充用とかを除いたところの生の赤字額をちょっと確認したいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） ご質問は、平成27年度の生の単年度の実質収支ということでよろしいでしょうか。

平成27年度の単年度実質収支におきましては、約1億4,000万円ほどになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 若干改善されたようにも思うんですけども、そこら辺の何か理由というのは、何かあったんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 平成27年度におきましては、国のほうから財政支援、先ほどご質問にもありました保険基盤安定制度負担金の保険者支援分ですね、こちらのほうが全国規模で1,700億円追加の財政支援措置がございました。そちらの効果等が大きいものと考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 済みません、総括的というよりも、聞き忘れたことがあるのですが、よろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） はい。

○委員（笠利 毅委員） 308ページ、309ページの8款保健事業費の特定健康診査等事業費のことなんですけれども、これは予算に対して半分弱が不用額として残っているんですけれども、これは特定健診に係る費用で全部だと思うんですけれども、半分強ぐらいしか金額面でいえば実施できなかったのは、どういう背景があったのかを教えていただきたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 特定健診の受診に関しましては、平成27年度が受診率30.1%でございました。当初、保険者太宰府市としましては、もっと高い数値を目標に置いて予算措置も計上していたわけなんですけど、結果的には30.1%というところで終わってしまい、その結果がこの予算残ということになっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） だとすると、参考までにですけれども、予算を立てた時点で何%ほど期待していたかということと、前年度何%ぐらいの受診率があったのかを教えていただければと思います。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 前年度ですけれども、平成26年度におきましては29.3%ということで、受診率自体はまず0.8%ほど上昇しております。これにつきましては、市のほうとしましても、受診率を上げるために、受診勧奨通知等を前年度よりもさらに回数等も増やして行ったその結果ではないかというふうに考えております。

当初予算につきましては、一応目途としては、やはり50%ぐらいを受診率いきたいなというふうにこちらとしては考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（笠利 毅委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 平成27年度末で、今のところ累積の赤字としては6億9,800万円がありまして、平成28年度、平成29年度で最終的に解消する方向だと思うんですけれども、平成28年度についても税率をちょっと上げたということで、通常だと1億5,000万円ぐらいの赤字だったんですけれども、1億円程度と思われます。平成29年度もまた赤字が出てくるということで、最終的にどういう形で償還していくのか。平成27年度は5億円、一応一般会計から入れたけれどもまた平成28年度についてもそういう形で繰り入れがあつて解消していくのか、そこら辺の計画を教えていただきたいんですけれども。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（高原 清） 国保会計につきましては、今ご指摘のとおり、年々赤字が積み上がっていったような状況でございます。平成28年度につきましては、保険税率の改定を行いましたので、平成27年度の赤字額1億4,000万円よりは減っていくという見込みを持っております。

ただ、しかしながら、平成28年、平成29年度につきましても、現時点ではございますが、やはり若干ながら赤字が続いていくのではなかろうかなというふうに考えております。

平成30年度から都道府県との共同運営になりますので、それまでにはこの累積赤字については解消したいということで、担当課としては考えております。

そのための方策、手段でございますが、当然ながら医療費の適正化等に努めながら、これまでの累積赤字につきましては、平成27年度に5億円の法定外繰り入れを実施をさせていただきましたが、同じように平成30年度までに法定外繰り入れをさせていただきながら、解消に向けて取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにごいませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行います。

ご意見ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第2号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第2号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時20分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定につ

いて

○委員長（門田直樹委員） 日程第3、認定第3号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

318ページ、1款保険料から入ります。

1款保険料について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款使用料及び手数料、3款繰入金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同じページの4款諸収入、321ページの5款繰入金まで入れまして、最後まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

322ページ、1款総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 同ページ、2款諸支出金、325ページの3款まで入れまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、326ページの実質収支に関する調書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行いたいと思いますが、ご意見ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第3号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時22分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第4、認定第4号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

最初に、保険事業勘定から審査を行います。

334ページ、1款保険料から入ります。1款保険料について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款使用料及び手数料について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 同じページ、3款国庫支出金、ページは337ページまでですが、3款について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4款支払基金交付金、5款県支出金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 同じページの6款財産収入、339ページまでですが、6款について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 同ページ、7款繰入金、341ページまでですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 8款繰入金、9款諸収入まで質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

342ページ、1款総務費、ページが347ページまでですね。1款につきまして質疑はございませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 347ページの介護認定調査費の委託料で、訪問調査委託料1,126万円について事務報告書の188ページに介護認定調査委託の債権者名が同仁会くすの郷ケアプランサー

ビスというふうになっているんですけれども、これは大野城市の事業所ということでよろしいでしょうか。で、これ「ほか」というふうになっているんですけれども、ほかの委託業者も教えていただけないでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 今ご質問の188ページの委託先のところのご質問でございますよね。大野城市のほうでございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 「ほか」というふうになっているんですけれども、ほかに事業所があるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 事業所はいろいろな事業所ございます。認定受けている訪問調査の資格持っている事業所、そういうところあります。大きなところでいえば、この辺ではアール・ツーエスというところが一番大きいんですけれども、そういうところが訪問調査かわってやっております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 太宰府市内の事業所はあるんでしょうか。あれば、数だけ教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 数ですね、数。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） あるかないかだけで。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） ございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

346ページ、2款保険給付費。355ページまでについて、給付費について質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 349ページ、介護サービス全般のところにはなるかと思うんですけれども、審査資料の請求をさせてもらいました4ページ。介護認定者の区分と認定者数、そしてサービスを利用した方の数と、利用されていない方の数を出していただいたんですけれども、介護認定を受けたただけけれども、その後のサービスがやはり、1割負担ではあるんですけれども、個人負担があつて、やっぱり使えないというようなお話をちょっと聞いたことがあります。

たので、この利用してない方がどのくらいいるかというのを調べたくて、これ出していただいたんですけれども、実際そういう声というのは、認定のときにそのようなお話が出たりしていることはないでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 今のご質問でいきますと、介護認定受けて、介護サービス、例えば要支援1なら上限が5万円で、1割負担なら5,000円の負担。それが難しいから、例えば2,000円分しか介護のサービスが使えないという方がいらっしゃるかという、そういうお話がまっているかというご質問だと理解しておりますけれども、それでよろしいんですね。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） じゃなくて、5,000円じゃなくて、もう全く使えないというような方っていらっしゃいますか。

○委員長（門田直樹委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 全く使えないという話は聞いたことはございません。私の耳には入っておりません。

ただ、今年度から2割負担という方が出ております。全体でいうと、調べましたら14%ぐらいが2割負担の方になっておられます。1割から2割になったときに、2割になるなら、ちょっとサービス減らそうかという方は聞いたことはございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ちょっと私から。今日の新聞だったか、この負担について、まだ国の計画だけでも、いわゆるケアプランも定率化、定額化とっていいんじゃないかという話が進む、いわゆる介護計画ですね。介護の種類であるとか、量であるとか、業者であるとか。いわゆるケアプランがでкинことには進みませんから。

それもそういうふうな有料になるとどうなのかということは、今審議中ですけども、ところでその中で、本来本人または家族がケアプランつくこともできるということですが、現実には余りおらんようですが、本市でそういう自分であるいは家族が、自分でというのはちょっと理屈的に無理と思うけれども、家族とか周りがつくるようなことはできるのか、そういう方おられますか。

介護保険課長。

○介護保険課長（平田良富） 大変難しいと思います。中には、知り合いのアドバイスを得てつくってあるという方は、まれにはございますけれども、あるというのは聞いたことがございます。

○委員長（門田直樹委員） だって、今から有料になれば、率とか定額かはまだ今からですけども、中には、そのとき担当として相談を受けるかもしれなので、そのとき話聞かせてくださ

い。済みません。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款終わりました。

それでは、354ページの3款地域支援事業費。これもページがずっと行きまして、361ページまでですが、3款について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4款諸支出金、5款基金積立金について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 同ページの6款予備費、そして363ページの最後までですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、364ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で保険事業勘定についての質疑を終わります。

次に、介護サービス事業勘定に移ります。

368ページ、1款サービス収入から入ります。

1款について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 2款繰入金、3款繰越金、4款諸収入まで、全部ですね、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 歳入が終わりました。歳出に入ります。

1款総務費、2款諸支出金、3款予備費、全部ですね、について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、372ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で介護サービス事業勘定についての質疑を終わります。

それでは、再度、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換について何かご意見はございますか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 意見というほどのものではないのですが、国保会計についても感じたこととすけれども、これから医療にしても高齢者の問題にしても、お金はどんどんかかっていくと思われるんですけれども、また2つの会計とも非常に大きな額が動いているんですけれども、総体的に細かく計算したわけではないんですけれども、人にかけているものであるとか、そのために対策を打つためにかかっている費用が、総体的にちょっと少ないのかなという印象を受けました。

特に質疑という形では言わなかったんですけれども、地域支援事業にかかわるところ、これも一般会計のほうからやられていることもあるかと思うんですけれども、多くの問題が多分この辺に集中してくるであろうという印象を持っていますので、何らかの手だてを打てるようになることを期待したいという印象を持っております。

○委員長（門田直樹委員） ほかにご意見ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第4号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第4号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時35分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第5 認定第5号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第5、認定第5号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

376ページ、1款県支出金から入ります。

1款について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）



○委員長（門田直樹委員） 2 款財産収入、3 款繰入金、4 款繰越金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページ、5 款償還金、379 ページの最後までですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

380 ページ、1 款総務費、2 款公債費、3 款基金積立金、全体について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、382 ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありますか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 審査資料を出していただきまして、5 ページなんですけれども、償還状況一覧表ということで、今滞納額が元利合計9,333万円、対象者が25名というふうにいただいています。その中で、もうお亡くなりになっている方が7人いらっしゃるって、お一人は今年度で完済予定というふうになっていますので、実質6人の方になると思うんですけれども、この方々に対しての回収の今見込みはあるのかということをお聞かせ願いたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） 亡くなられた方につきましては、相続をされた子どもさんであるとか保証人さんである方であるとか、それぞれケースによって違いますけれども、そちらのほうに当たっているところでございます。

ただ、そちらの方も非常に経済状況が厳しいという状況にございまして、なかなか定期的に償還を受けているという状況にはございません。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） その6名の方というのは、何かしら回収に対してお話ができる方がいらっしゃるということでよろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） そのように思っていて結構です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） この滞納額が、債権としても決算書のほうでも、429ページの債権のところに8,047万円というふうに数字が出てきていますので、この回収のところですね、もうなかなか回収が見込めないということであれば、何かしら手だてを考えると、何かほかの自治体では、そういう何か条例もつくって進めているというようなお話もちょっと聞いていますので、その点も検討していただければというふうに思います。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 要望ということでよろしいですか。

○委員（神武 綾委員） 要望で、はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 同じところなんですけれども、神武委員が審査資料を要求されて、ちょっと活用させていただきますが、7番の方ですね、この方は破産という結果、結果は破産になっているんですよね。1,000万円借り入れをして、利子がついて約1,270万円ぐらいですかね。返済されたのが元金で255万円、残が885万円残っているわけですよ。残った時点で破産と。今後この方に対しては、どうするのか、どうなるのか、あるいは法的な何か手続をとられるのか、お聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（福嶋 浩） 7番の方に関しましては、亡くなってありまして、破産もされてありますので、保証人さんがもとの奥さんという形になってあります。もうそちらの方も非常に償還が難しいということで、今回県の償還助成事業で補助金を受けております。この方になりますので、補助金は受けましたけれども、まだ保証人としての地位はありますので、できるだけ少しでもご自身が返していただくのが本務と思いますので、そういう方向性を持って考えていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換を行いたいと思いますが、何かご意見ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第5号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時41分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 認定第6号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第6、認定第6号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

386ページ、1款分担金及び負担金及び2款国庫支出金、3款諸収入、7款県支出金、歳入全体についてですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

388ページ、1款総務費、2款予備費、全部ですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、390ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、再度歳入歳出全般について、総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換についてご意見ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第6号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定につ

いて」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第6号については、認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時42分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定  
について

○委員長(門田直樹委員) 日程第7、認定第7号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

394ページ、1款分担金及び負担金及び2款県支出金、歳入全体についてですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

396ページ、1款総務費について質疑はございませんか。

長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 002認定審査会関係費なんですけれども、事務局職員の人件費負担金ということで、これ負担金なんであれですけれども、何人ぐらいいらっしゃるのか教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 介護保険課長。

○介護保険課長(平田良富) 事務局人件費負担金1,300万円の分だと思いますけれども、この筑紫地区の介護認定審査会には、4市1町から2名ずつ出ております。現在那珂川町と春日市の職員が派遣されておりますので、今これ2名分の人件費でございます。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにご覧いませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、同ページ、2款予備費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、400ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換についてご意見ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 討論を終わります。

採決を行います。

認定第7号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第7号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時45分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

ここで11時まで休憩します。

休憩 午前10時44分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時00分

○委員長(門田直樹委員) 再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 認定第8号 平成27年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第8、認定第8号「平成27年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

1ページ、平成27年度太宰府市水道事業報告書から入ります。

1ページの概況について、また3ページまでですね、1ページから、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に、4ページ、工事についてですが、質疑はございませんか。

村山委員。

○委員(村山弘行委員) ちょっとお伺いしますが、これ参考に、4ページですが、参考に、新設工事と布設替工事が8件。ずっと老朽化が進んでいこうと思うんですが、大体目安というか、どれぐらい。まだ目安も立たないぐらいあるのか。ずっと今からある程度していけば、それは

わかりますかね、展望的なものというか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 今年の平成28年度に、アセットマネジメントといいまして、水道の施設が約330kmぐらいございまして、管路だけですね、その分を今後耐用年数どおりに更新していったら幾らぐらいかかるかということを試算しまして、平成28年度中に今後の布設替の計画等を含めて計画を今立てているところでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5ページについてはよろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 6ページについて質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 5ページで、済みません。

○委員長（門田直樹委員） 5ページ、はいどうぞ。

○委員（木村彰人委員） 供給単価と給水原価のところなんですけれども、こっちのほうが給水原価が190円ということで、差額が22円ぐらい出ているんですけれども、これが一時的にちょっと益が出たのか、それとも継続的にこういう形で22円、この益金22円という形、結構大きい金額だと思うんですけれども、一時的なものか、これから継続的にこういう形でいけるものかをちょっとお伺いしたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 平成26年度から計算方式が変わりまして、給水原価のところ、今まで長期前受金戻入分というのを引いておりませんでしたものですから、どうしても給水原価のほうが高いというふうな感じになっておりましたけれども、平成26年度から計算式が変わりまして、供給単価のほう給水原価を上回るような形になっております。これは引き続き、よほどのことがない限り、こういった形で進んでいくかと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ということは、水道料金という形、そっちのほうには反映してくる予定ではあるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） それも含めまして、先ほどちょっと村山委員のほうにもご説明をいたしましたけれども、今後水道の施設の更新というのが出てくるわけでございます。それも念頭に入れて、水道料金のほうを、4年に一度料金審議会というのを設けておりますので、来年

がその、平成29年が料金審議会の年に当たりますので、今後の収支見込みを調べまして、十分検討していきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

よろしいでしょうか。それでは、6ページについてはよろしいですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 7ページについて質疑はございませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 決算審査及び基金運用状況審査意見書、56ページ、水道料金収入率で、今年度は滞納分が0.72ポイント上昇しているとなっているので、何かその辺の部分で原因とかわかっていればお教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） この分に関しましては、一応料金係のほう年3回、夜間訪問とか徴収を行っておりまして、そしてそれに基づきまして徴収を行っているわけなんですけれども、どうしてもやっぱり平成27年度につきましては、年度末に大きな寒波漏水がございましたので、3月に実施いたします分の夜間徴収のほう、なかなかそこまでちょっと行けなくて、ちょっと滞納分が若干増えているかと思えます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 徴収方法はそういうふうにもうお手数かけてやられる分と、基本的には銀行振り込みとコンビニの振り込みですかね。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 口座振替とコンビニ収納、それから納付書振り込みになっておりますけれども、最近はコンビニ収納が増えておりまして、約12%コンビニ収納が増えているというような状況でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 前、コンビニ収納と銀行も同一値段で、でもコンビニのほうはどうしてもコストがかかるんで、その分は市のほうが補填しているような形でいいんですか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 口座振替は1件10円の手数料でございますけれども、コンビニ収納は1件62円から63円の手数料を取りますので、なるべくでしたらうちのほうとしては、口座振替のほうを進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） そういう意向やけれども、でもコンビニのほうは今増えていっているという現状ですね。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） どうしてもやっぱりコンビニ収納に関しましては、24時間やはりコンビニ等がおりますので、利便性を追求されて、コンビニでお支払いされる方が増えてきているというのは事実だと思います。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 8ページ、9ページについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、決算報告10ページ、11ページ、それから12ページ、13ページまでについて質疑はございませんか。よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 12ページ、13ページです。支出のほうで建設改良費が予算に対して執行率が78%なんですけれども、これは予定していたものができなかったとかというわけじゃなくて、この78%になっている理由をちょっと聞きたいんですが。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（谷崎一郎） こちらにつきましては、梅香苑団地で計画しておりましたけれども、ちょっとそちらの配管関係を耐震化含めてもう一度見直していますので、その関係で減額になっております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは進みます。

14ページ、損益計算書について質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 15ページ、剰余金計算書について質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 16ページ、剰余金処分計算書案について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、17ページの貸借対照表について質疑はございませんか。

18ページ、19ページまでですね。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、20ページ、キャッシュフロー計算書について質疑はござい



ませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、21ページ、費用明細書、24ページまでですね、とりあえず。質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 21ページの明細書なんですけれども、一番下の行の固定資産売却益、ポンプ場用地かなとは思ったんですけれども、ちょっとここ詳しい説明をいただきたいです。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） おっしゃるとおり、榎寺団地の専用住宅のポンプ用地を1,020万円で売却、平成27年度中にできましたことから、1,020万円から資産として登録しておりました715万6,000円ほどを引いた残りの金額が、固定資産売却益として上がっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、25ページ、収支明細書、次ページまでですね、について質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、27ページ、固定資産明細書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次のページ、28ページ、29ページの企業債明細書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、30ページ、31ページ、注記について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換についてご意見ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第8号「平成27年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第8号については原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前11時12分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第9 認定第9号 平成27年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第9、認定第9号「平成27年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

1ページ、平成27年度太宰府市下水道事業報告書から入ります。

1ページ、2ページについて質疑はございませんか。3ページまでですね。3ページまでについて、概況について質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、4ページ、工事について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5ページまで、業務について。7ページまでですね。若干さかのぼっても構いませんけれども、7ページまでについて質疑はございませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 5ページ、普及率が99.2%で、かなりもう高い率になっています。大体もう事業的に100%になるのが見えてきたところだと思うんですけども、その大体見込み年次、全部100%いける見込み年次と、あともう一つ、同じページの、先ほどの水道も一緒なんですけれども、54円の差額が出ていて、益金が出ているということで、それについてもちょっとお話ししたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 先ほどの普及率でございますけれども、あと平成30年度に北谷、内山の分を残しまして、汚水に関しましては全て終わる予定にしております。それで、あとはどうしても下水道につながれてない方とかがいらっしゃいますので、そういった分に関しましては、普及促進を努めていくというふうにしております。

それと、先ほど水道と同じでございますけれども、使用料単価と処理原価に関しましては、このように同じように、水道と違まして下水のほうがもうある程度まで、100%近くまで来ておりますので、この金額で推移をしていくと思いますので、料金に関しましては、今後企業債とかが減ってまいりますので、値下げのほうを念頭に入れて考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、8ページ。8ページ、9ページについて質疑はございせんか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、10ページ、11ページについて質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、12ページですね、決算報告書。15ページまでについて質疑はございせんか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、16ページ、損益計算書について質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 17ページ、剰余金計算書について質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 18ページ、剰余金処分計算書案について質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、19ページから20ページ、貸借対照表について質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、21ページのキャッシュフロー計算書について質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、22ページから24ページまでですね、収益費用明細書について質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 25ページの資本的収支明細書、次ページまでですが、質疑はございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 27ページの固定資産明細書について質疑はありせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、28ページ、29ページ、それから32ページまでですね、企業債明細書について質疑はございせんか。

木村委員。

○委員(木村彰人委員) 企業債全般についてお伺いしたいんですけども、債務総額100億円切ったということで、着々と下がっていつに思っています。その関係で、かなり古いもの

もありまして、利率がすごく高いんですけれども、それについてもしかしたら、制度的に難しいかもしれませんけれども、借りがえということは可能なんではないでしょうか。すごくちょっと桁が違うんで、古いやつは。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 高い分に関しましては、繰上償還とかをしまして、この金額になっております。先ほど言いましたように、利率の高い分に関しましては、今後制度的に繰上償還ができる分に関しましては、資金的に余裕があれば、繰上償還とかを考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、33ページ、34ページの注記について質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で質疑を終わります。

意見交換について何かご意見ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第9号「平成27年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第9号については、原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前11時19分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

以上で決算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時19分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成28年11月22日

太宰府市決算特別委員会委員長    門   田   直   樹